



「家庭学習のすゝめ」

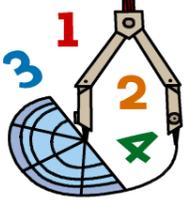
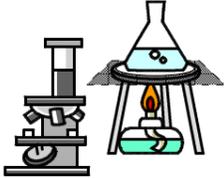
《「学習の手引き」ダイジェスト版》

広野町教育委員会
広野小学校・広野中学校

「子どもたちが学ぶことの意味や楽しさに気づき、生涯にわたって意欲をもち学び続けること」—これは、学校、保護者、地域の共通の願いです。そのためには、学校において授業の充実を図ることはもちろんのこと、子どもたちに家庭学習の習慣を身に付けさせるために、学校、家庭、地域が協力し合うことが大切です。

この度、義務教育9年間を見とおした学習習慣の確立を一層確かなものとしていくために、『家庭学習のすゝめ』を作成いたしました。ぜひ、ご家庭においても、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

学年（教科） 家庭学習 時間の目安	家庭学習の仕方・内容 <small>かていがくしゅう しかた ないよう</small>	保護者のかかわり方
小学校 1・2年生 時間の目標 15～30分 	◎宿題 <small>しゅくだい</small> がおわったら、挑戦 <small>ちようせん</small> しよう！ ※1年生は2学期 <small>ねんせい がつき と</small> から取り組みます。 ①国語 <small>こくご</small> ○しっかり覚 <small>おぼ</small> えていない漢字 <small>かんじ</small> を練習 <small>れんしゅう</small> する。 ○カタカナ、漢字 <small>かんじ</small> を使 <small>つか</small> って、短 <small>みじ</small> かい文 <small>ぶん</small> を作 <small>つく</small> る。 ○教科書 <small>きょうかしょ</small> の文 <small>ぶん</small> をていねいに写 <small>うつ</small> す。 ○読書 <small>どくしょ</small> をする。 ②算数 <small>さんすう</small> ○たし算 <small>たしざん</small> 、ひき算 <small>ひきざん</small> の練習 <small>れんしゅう</small> をする。 ○教科書 <small>きょうかしょ</small> の問題 <small>もんだい</small> を、もう一度 <small>いちど</small> 解 <small>と</small> く。 ○プリント、テストの問題 <small>もんだい</small> を、もう一度 <small>いちど</small> 解 <small>と</small> く。 ③その他 <small>ほか</small> ○なわとびの練習 <small>れんしゅう</small> をする。 ○楽 <small>たの</small> しかったことやうれしかったことなどを日記 <small>にっき</small> に書 <small>か</small> く。	○学習するときは、できるだけ近くでみてあげてください。終わったらできているか確認してください。 ○静かな環境の中で取り組ませてください。 ○少しずつ自分で時間割や学習用具を揃えられるようにお話してください。 ○正しい書き順で文字を書いているか見てください。 ○音読（教科書などを声に出して読むこと）を聞いてあげてください。
小学校 3・4年生 時間の目標 30～45分 	◎宿題が終わったら、挑戦しよう！ ①国語 ○しっかり覚えていない漢字を練習する。 ○漢字を使い、短い文を作る。 ○言葉の意味を調べる。 ○教科書の文をていねいに写す。 ○読書をする。 ②算数 ○計算の練習をする。 ○教科書の問題を解く。 ○プリントやテストの問題をもう一度解く。 ○問題文を作り、自分で解く。 ③その他 ○地図記号や都道府県名を覚える。 ○理科や社会の復習をする。 ○なわとびなどで体をきたえる。 ○リコーダーや鍵盤ハーモニカの練習をする。 ○日記を書く。	○静かな環境の中で取り組ませてください。 ○あたたかい助言や励ましをお願いします。 ○自分から自主的に学習に取り組む習慣をつけさせてください。 ○地域の文化や産業、生き物の観察などにも興味をもたせるようにしてください。 ○音読を聞いてあげてください。
小学校 5・6年生 時間の目標 45～60分 	◎宿題が終わったら、挑戦しよう！ ①国語 ○しっかり覚えていない漢字を練習する。 ○漢字を使い、短文作りをする。 ○言葉の意味調べをする。 ○教科書文をていねいに視写する。 ○読書をしたり、新聞を読んだりする。 ②算数 ○計算の練習をする。 ○教科書、プリント、テストの問題をもう一度解く。 ○教科書の問題を参考に、自分で問題作りをして解く。 ○予習をする。 ③その他 ○世界の国名・首都名を覚える。 ○理科や社会の復習をする。 ○なわとびなどで体をきたえる。 ○リコーダーや鍵盤ハーモニカの練習をする。 ○日記を書く。	○静かな環境の中で取り組ませてください。 ○家族の言葉かけで意欲や興味・関心を高めてください。 ○生活のリズムを整え、計画的にできるようご配慮ください。 ○「やればできる」という気持ちと、学ぶ楽しさやわかる喜びを味わえるようお願いします。 ○音読を聞いてあげてください。

学年（教科） 家庭学習 時間の目安	家庭学習の仕方・内容	保護者のかかわり方
中学校 1～3年生 目安時間 10～15分× 学年 ※中学生は 7・8・9 年として計 算します	【復習】 (1)その日学習した内容を見直す。 (2)教科書を音読し、すらすら読めるようにする。 (3)「分からなかった」「できなかった」問題を復習する。解説を読む。 【さらに国語力を高めるために】 (1)様々なジャンルの文章を読む。(書籍、新聞) (2)新聞のコラムを視写する。コラムの中で印象に残った部分やそれに関する自分の考えを書く。 (3)毎日、日記を書く。 【予習】 (1)教科書を音読し、すらすら読めるようにする。 (2)読めない漢字や意味の分からない語句を調べる。 (3)学校で使用しているワークブックの問題を解く。	「よりよく生きるために勉強は大切だ」「夢を実現するために、勉強がもっと分かるように、できるように成りたい」子どもたちはそんな願いを持って、先生や仲間とともに勉強します。
	【復習】 (1)用語や記号、性質などをしっかり覚える。 (2)解き方や答えを確認する。(ノートやワークシートで確認) (3)類似問題(問題集など)を解いたり、発展問題を解く。 ※このサイクルを繰り返して、力をつけていこう。 【予習】 (1)次の授業で学習する内容に目を通そう。 (2)自力でできそうと思ったら、教科書の例題を解いてみよう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 1 大きくほめよう 小さな成長! 2 テレビより家族の対話 スイッチオン! ～ノーメディアデーの推進～ 3 「〇〇しなさい」で動くより 自分で考え行動する子へ 4 「ありがとう」の言葉で言葉のキャッチボールを! 5 努力する親の姿が 子どもの鏡! </div>
国 語	【復習】 ・・・授業で習ったことは、その日のうちに必ず復習する。 (1)用語や記号、性質などをしっかり覚える。 (2)解き方や答えを確認する。(ノートやワークシートで確認) (3)類似問題(問題集など)を解いたり、発展問題を解く。 ※このサイクルを繰り返して、力をつけていこう。 【予習】 (1)次の授業で学習する内容に目を通そう。 (2)自力でできそうと思ったら、教科書の例題を解いてみよう。	
数 学	【復習はその日のうちに】 (1)教科書を大きな声で読もう。 (2)わからないことはノートや辞書・参考書で調べよう 「ことばの意味や発音」「単語のつづり」を繰り返し練習しよう。 【予習はこれだけで十分】 (1)教科書の本文をノートに書き写し意味を考えて見よう 本文を書き写し、自分のわかるところとわからないところをはっきりさせておき、「授業中」は、わからないところに集中しよう。 (2)辞書や教科書の単語の索引で、単語や熟語の意味を調べておこう 【さらに英語力を高めるために】 (1)ALTと休み時間に会話したり、英語検定にチャレンジしよう。 (2)単語や基本文は「耳で聞いて、目で見て、口で言って、手で書こう。	
英 語	【復習】 ・・・理科は復習を中心に学習しよう (1)必ず授業のあったその日に「何についてどのような学習をしたのか」確認する。 (2)教科書を丁寧に読み、ノートを整理、完成する。わからなかったところをしっかりとおさえておくようにする。 (3)ワークブックをやり、わからないところや間違えたところをしるしを付けておき、もう一度教科書にもどって確認する。	
理 科	【復習】 ・・・社会は教科書、資料集、地図帳を使って学習を進めよう。 (1)授業の内容を、教科書で確認する。 (2)教科書の太字の語句は、ノートにしっかりまとめる。 (3)地図帳や歴史資料集を大いに活用する。 【予習】 (1)授業前には教科書を読み、わからない所を質問できるようにする。 (2)ニュースや新聞を見て、社会の出来事を知る。	
社 会		